

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

今、私は自宅でこの原稿を書いています。なぜなら、“テレワーク”しているからです。一年前の私なら、きっと会社で原稿を書いていたことと思います。新型コロナウイルスは、良くも悪くも仕事と私事に劇的变化をもたらしました。

半強制的に始めたテレワーク、最初は、「子供たちがチョロチョロしてるから仕事に集中できない（子供もコロナで休校でした）」とか「本がない、資料がないから効率が悪い」など、不満タラタラでした。好転のきっかけは、政府の呼びかけに応じて『ゴールデンウィークはステイホーム』、自宅の大掃除＆模様替えに取り組んだことでした。コツコツと作業スペースを確保したり、机・椅子を揃えたり、PC モニターを買ったり（会社支給のノートパソコンにつないで 2 画面化）・・・狭いながらも自分の居場所を作ったらすっかり気持ちが切り替わりました。

テレワークの最大のメリットは通勤時間がゼロになったことです。1 日あたり約 2 時間も自由な時間が増えました。本を読んだり、勉強したり、子供とキャッチボールしたり、たまには家事を手伝ったりとテレワークのおかげでプライベートも充実しました。

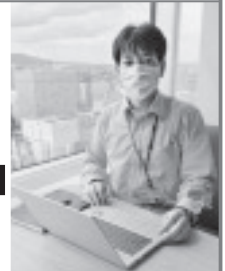
今やすっかりデジタル社会。ICT、IoT、AI、CIM、ドローン、3D レーザースキャナー等々はもはや普及技術、使って当たり前の世の中になりました、とのこと。まだ、ちょっと拒絶反応を起こすようなものもありますが、テレワークを克服できた私なら、これらとも上手にお付き合いできそうな気がします。“温故知新”、これまでに培った知識・経験とデジタル技術をクロスミックスして、令和の時代を生き抜ける技術者になりたいと思います。どうせ避けては通れない道なのだから。

宮田 善郁 (みやた よしふみ)

●建設部門

勤務先

株式会社ドーコン
交通事業本部 防災保全部



→次号は、藤田和成さん(建設部門)

私は高校と大学で商業・経済を学び、卒業後は「24 時間働けるジャパニーズ・ビジネスマン」として、産業用ロボットメーカーで営業職を担当してきました。しかし、バブル崩壊とともに受注は減少し、激しい価格競争にさらされ、売れば売るほど赤字が増える状況になりました。そんな中、帰省中に新聞で目にした「親方日の丸」である建設業に心を惹かれ、縁あって現在の会社で、全く畑違いの技術職に付いております。

話は変わりますが、皆さんはどのような手段で通勤されているでしょうか？私は、自宅から会社まで約 3km の距離を、春から秋までは徒歩で通勤しており、歩き始めてからもう 10 年以上経ちます。春は若葉の芽吹きや桜など眺め、夏には各庭先の花を楽しみ、秋には紅葉の色の移り変わりで、少しずつ冬の訪れを感じることが出来ます。

はじめは、一向に減らないウエストサイズの数値対策の為でしたが、徐々に「ウォーキング」をしないと、体の調子が上がらないことに気付き、休日でも歩きに出かけるようになりました。休日は、もちろん会社へは向かわず、いろいろなルートを気ままに歩きます。そうすると、春にはあった古い家が秋には無く更地になっていたり、店の名前が変わっていたりと、いろいろな発見や町の変化が感じられます。

私の住む町も他の市町村と同様に、徐々に人口が減り始めています。会社においても、平均年齢の上昇と人材不足は顕著になってきています。「30 年後、50 年後、ここはどうなっているだろうか？」幸せな生活を営んでいける町であることを願っています。

菅原 治 (すがわら おさむ)

●建設部門(道路)

勤務先

株式会社フジ土木設計



→次号は、山口忠幸さん(建設部門)